

# 令和6年度 自己評価報告書

学校法人 澤田学園  
松江総合医療専門学校

## 1. 教育理念・目標

	評価項目	現状、課題、今後の改善方策等
1	<p>学校の教育理念・教育目的・育成人材像は定められているか</p> <p>学校の教育理念・教育目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか</p>	<p><b>【教育理念・目標】</b> 本校は、地域の保健・医療・福祉施設などにおいて、人々の健康の担い手として活躍できる質の高い医療従事者を育成することを目指す。また、医療従事者に不可欠な思いやりの心を養い、医療技術を習得するための学校として存在することを目標に掲げている。</p> <p>入学時・年度ごとに、教育理念・教育目標・育成人材像・教育の特色等についてオリエンテーションを行っている。学生便覧は本人、保護者に配布。また、ホームページでも公開している。教育理念、教育目標は学校エントランスに掲げている。</p>
2	<p>学校における職業教育の特色は何か、明確になっているか</p> <p>各学科の教育目標、育成人材像は、学科等の対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか</p>	<p>理学療法学科、作業療法学科、看護学科における職業教育の特色は、学生便覧の学科案内（教育目的、学ぶ内容、学び方、教育指針）に記してある。また、総合入学案内（パンフレット）にも記している。今後もさらにわかりやすくするために常に検討の必要がある。</p> <p>各学科とも業界のニーズに向けて方向づけられてはいると考えており、外部から講師を招く等、業界との交流も積極的に行っているが、多様化する学生支援（配慮の必要な学生）と育成人材のバランスが課題である。</p>
3	<p>社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか</p>	<p>超高齢化社会を迎える地域に必要な人材育成に力を注いでいる。社会のニーズに伴い、学科の編成も行っている。少子高齢化社会において地域に貢献できる必要な人材の教育に向けてますます、地域、医療業界とも連携していく必要があると考える。</p>

## 2. 学校運営

	評価項目	現状、課題、今後の改善方策等
4	目的等に沿った運営方針が策定されているか	地域医療に貢献できる医療従事者を輩出するために医療機関等と連携しながら実践的な教育を目指し、運営方針を策定している。
5	運営組織や意思決定機関(会議や委員会等)は、規則等において明確化されているか、また、有効に機能しているか	理事会、運営会議を設置し、定期的を開催している。
6	人事、給与に関する規程等は整備されているか	就業規則、賃金規則に定められている。
7	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	コンプライアンスについては教務会議、運営会議で積極的に取り上げているが、さらなる充実を図っていく。
8	学校運営組織に外部人材が理事等として参画しているか	外部人材が参画している。
9	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	SNS(ホームページ等)を活用し、公開している。学校便り「かわら版」で学生、保護者にも情報を公開している。
10	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	全学生にipadを導入している。 オンライン化により会議、リモート講義、資料配布等効率化を図っている。 さらなる充実を図るため令和7年度より、WEB出願も取り入れている。連絡用ツールとして学内メールも積極的に活用していく。

### 3. 教育活動

	評価項目	現状、課題、今後の改善方策等
11	教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	各学科とも教育理念に沿った教育課程の編成、実施方針の策定をしている。
12	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	規定に定められた、3,000時間以上のカリキュラムとしてシラバスで明確化している。
13	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	指定規則に基づき学生が学びやすいように体系的に編成している
14	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが計画・実施され、シラバス等にも明示されているか	OSCE（客観的臨床能力試験）、アクティブラーニング等実践的職業教育につながる、カリキュラムを取り入れている。 また、理学、作業、看護の教員が相互に学科介入し、他職種連携などの講義を行っている。 毎年度、島根県の理学療法士会、作業療法士会、看護連盟の協力を得て、キャリア教育、職業教育の一環として専門家による講話や指導を実施している。
15	職業教育に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	学校関係者評価委員会や有識者懇談会を定期的開催し、外部からの客観的な意見を聞く機会を設けている。 また、リハビリテーション教育評価機構、実習指導者会議等を行っている。
16	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確であり、GPA等の客観的指標が取り入れられているか	学則にて成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準を明確にしている。成績評価に関する客観的指標としてGPAを採用している。  (GPA : Grade Point Average)
17	人材育成目標の達成に向けた授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	指定規則に定められた資格要件の教員の確保はできている。人材育成目標を達成しうる授業を行う、経験豊富な教員（非常勤講師も含む）を確保している。
18	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	実習指導者養成講習会等、各業界の活動に積極的に参加をしている。各種関連分野の研修や学会に積極的に参加し、教員の知識、技能について、資質向上を目指している。
19	教職員の能力開発のための研修等が行われているか(教員の臨床研修を含む)	外部での研修等に積極的に参加している。学内での教員研修等も計画的に実施していく。

#### 4. 学修成果

	評価項目	現状、課題、今後の改善方策等
20	就職率の向上が図られているか	求人倍率 理学療法学科 116 倍 (令和 6 年度) 作業療法学科 136 倍 看護学科 85 倍 学生の意向を尊重しながら、担任を中心に就職相談や面接指導を行うことで高い地元就職率を実現している。
21	資格取得率の向上が図られているか	国家試験を意識した授業、個別指導を行い、国家試験にしっかり向き合えるようサポートしているが、合格率が全国平均に満たない学科もある。 今後も一人一人が国家資格取得へ向けてサポートをしていく。
22	退学率の低減が図られているか	担任制を敷き、教員同士で連携を図り、学生が抱える様々な問題に対し、早期発見、早期対応できるよう努めている。学生サポート委員会を設置し、情報を共有し対応策を検討する体制をとっているが、令和 6 年度は休学退学が前年度に比べて増えた状況にある。
23	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	就職先から常に情報収集するよう努めている。学友会とも連携し卒業生の動向把握をしている。 在校生についてもボランティア活動等、学外活動も把握するようにしている。
24	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	学友会、実習施設等で、卒業生とかかわる機会を通じて把握しており、教育活動の改善に活用している。

## 5. 学生支援

	評価項目	現状、課題、今後の改善方策等
25	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	学生の意向を尊重しながら、就職活動相談や面接指導等、学生への就職支援を行っている。求人票の閲覧等についても学生が情報収集しやすい環境を工夫している。
26	学生相談に関する体制は整備されているか	各学科で学生がいつでも相談できる体制を整備している。また、教員、職員が学生の変化を察知し声掛け、相談にのっている。学生意見箱を設置している。 令和7年度からは、校長とのランチミーティングを実施し、コミュニケーションを図り、なんでも気軽に話せる環境づくりを行う。事務局長のなんでも相談室の設置も予定している。
27	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	本校は高等教育の修学支援無償化の対象校に認定されており、非課税世帯、多子世帯等の学生について経済的支援が可能な状況にある。また、しましん奨学金制度等の奨学金制度についても広く学生に周知している。 学生の経済的負担軽減のため、必要に応じて学費の分割払い、延納等柔軟な対応をしており、経済的な理由で学業を断念することのないよう、支援をしている。
28	学生の健康管理を担う体制はあるか	学生健康診断を年に一回行っている。保健室を各棟に置きいつでも学生を受け入れる体制にある。 校内各所に消毒液、検温器を設置している。
29	課外活動に対する支援体制は整備されているか	サークル等の団体活動を認めている。体育館やグラウンド等学校施設をレクリエーションの場として利用できるようにしている。スポーツ用具等をレクリエーションのために貸出している。
30	学生の生活環境への支援は行われているか	学生寮の設置、スクールバスの運行、学生食堂、無料駐車場等学業に集中できる生活環境支援を行っている。
31	保護者と適切に連携しているか	必要に応じて保護者面談等を実施し、連携を深めている。学生生活が保護者に理解されるように、学校便り「かわら版」の配布やSNSへの公開を行っている。
32	卒業生への支援体制はあるか	卒業生からの相談には適宜積極的に対応している。各学科学友会を組織し、卒業後も支援体制をとっている。
33	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	出前授業や、職業教育の授業、学校ガイダンスにも参加する等、積極的に取り組んでいる。 令和7年度は、高校の先生からキャリア教育について、学生、教員研修を行う予定にしている。

## 6. 教育環境

	評価項目	現状、課題、今後の改善方策等
34	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	指定規則上必要な設備を整備している。また各学科間で教室、物品の相互利用なども積極的に行った。
35	学内外の実習施設、インターンシップについて十分な教育体制を整備しているか	実習施設と連携し教育課程に沿って体系的に学外実習を実施できる体制を整備している。学内の実習環境も整備している。今年度は全学科、医療現場がイメージしやすいよう早期に病院見学や実習を行った。
36	防災に対する体制は整備されているか	防災マニュアルに基づいて、定期的に保守点検を行い、適切に対応している。令和6年度は学生寮の避難訓練を行った。令和7年度は学校全体で行う。

## 7. 社会貢献・地域貢献

	評価項目	現状、課題、今後の改善方策等
37	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	松江市内の高等学校に教員を派遣し、出前授業を行っている。地域の健康フェスティバルや、ボランティアにも積極的に取り組んでいる。
38	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	コロナ禍で減少していた各種イベントの再開に伴い、様々な活動への参加が可能となり、積極的に参加を奨励支援している。
39	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	松江市のリハビリテーション専門職派遣事業に参画し、また健康に関する出前講座を行っている。地域の健康フェスティバルに積極的に参加している。

## 8. 学生の受け入れ募集

	評価項目	現状、課題、今後の改善方策等
40	学生の募集活動は、行われているか	オープンキャンパス、進学相談会、高校訪問、学校見学の受け入れ、SNSの活用、学校だより等の広報物の発行、DMの発送等、募集活動は積極的に行っているが、定数に満たない。 令和7年度からWEB出願を導入した。
41	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	SNSで公開し、高校訪問時伝えている。
42	学納金は妥当なものとなっているか	国公立の学納金と比較すると高額と考える。

## 9. 法令等の遵守

	評価項目	現状、課題、今後の改善方策等
43	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	法令、専修学校基準等を遵守し、運営している。
44	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	個人情報保護に関する基本方針に基づき、対策している。
45	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか 自己評価結果を公開しているか	自己評価を実施し、問題点の改善に努めている。また、学校評価を実施し、学校関係者評価委員による外部評価を受け、学校運営に活かしている。 情報公開している。

## 10. 財務

	評価項目	現状、課題、今後の改善方策等
46	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	学生数の減少から学校の財務基盤が安定しているとは言い難い。令和6年度は澤田勝寛氏からの寄付もあり、財政状況の改善を図ることができた。 学生数の確保及び経費削減は喫緊の課題である。 令和7年度からバランスの取れた収支計画に努める。
47	財務について会計監査が適正に行われているか	令和7年3月、会計検査院の实地検査が実施され、看護師養成所運営費補助金の高等教育の修学支新援制度にかかる会計処理の一部に記載漏れがあり、結果として、返還の必要性があることが判明した。
48	財務情報公開の体制整備はできているか	情報公開体制整備ができている。